



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和5年度 3月号

第六十三回卒業証書授与式 式辞（一部抜粋）

校長 浅野 謙一

豊かな恵みを育む大地にも、春の息吹がようやく感じられる頃となりました。

本日このよき日に、第六十三回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、卒業生はもとより、わたくしたち教職員にとりまして大きな喜びです。

さて、ただ今、卒業証書を授与しました二百六十八名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今から三年前、皆さんが旭中学校に入学した時は、まだまだ新型コロナウイルスが猛威をふるっており、マスクをしながらの学校生活が当たり前でした。入学式や体育大会、文化発表会などの行事の中止や縮小、授業における活動制限や部活動の大会の中止や応援の自粛など様々な経験をしてきました。しかし、皆さんは、力を合わせて協力しながら新型コロナウイルスに立ち向かい、どんな場面においても、できないことを悲しむのではなく、できることに精一杯取り組み、それぞれが「自分で考え判断して、正しい行動をとる」「仲間と協力し、助け合って生活する」「ピンチをチャンスにと前向きに捉え、困難を乗り越える」このことを目標に中学校生活を過ごすことができたと思います。

スマップが歌って大ヒットした「世界に一つだけの花」の歌詞に、こんな言葉があります。「人は、一人一人違う種を持つ 小さい花や大きな花、一つとして同じものはないから、その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい ナンバーワンにならなくてもいい、人は、もともと特別なオンリーワンなのだから」人にはそれぞれ一人一人に個性があります。これからは、自分が持っている個性を伸ばすための努力を重ね、「個性」という種を育て、「夢」という世界に一つだけの花を咲かせてほしいと思います。

旭中学校の教育目標は「凡事徹底 そして自律・貢献へ」です。中学校生活は、様々なことに挑戦し、数多くの壁を乗り越えていながら、将来、しっかりとした社会人になるための準備をする期間です。皆さんの中学校生活はどうだったでしょうか。皆さんは、これからいろいろなことに挑戦し、数多くの壁を乗り越えていかななくてはなりません。きっと上手くいかずに悩んだり、立ち止まったりすることもあるでしょう。しかし、そんな時こそ、どんなに失敗してもあきらめず、地道に努力を続けることが大切です。ほんの小さな一歩でも、毎日少しずつ努力を続ければ、きっと夢は実現できるはずです。旭中学校は、今までも、そしてこれからもずっと、皆さんのことを応援し続けます。そして、悲しいことやつらいことがあって、くじけてしまいそうになったら、旭中学校の教育目標「凡事徹底」を思い出してください。きっと勇気がわいて、また前進できるはずです。

さあ、卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時がきました。新しい環境の中で、新しい仲間の中で、新しい時代に向かっていく皆さんの成長や活躍を多くの場面で見られることを楽しみにしています。そして、皆さんが一層心豊かにたくましく成長することを期待しています。